

【3つの共同目標】

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

# 革新・愛知の会

第292号 2019年9月10日

平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006  
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306  
Tel. (052) 872-6918 FAX (052) 872-6919  
Eメール: kakushin-aichi@roren.net  
http://www.kakushin-aichi.jp/

## インタビュー

# 歴史を学び直す「未来に繰り返さない」記憶の形成を

## 自らの生き立ちと重ねて



「表現の不自由展・その後」

パレスチナ研究をしています。パレスチナでの歴史認識論争を研究しつつ、日本の状況も透かして考えることができると思います。「慰安婦」問題については研究の片側で追いかけてきていました。

あいちトリエンナーレ「表現の不自由展・その後」は面白い試みだと感じていました。「すでに表現の自由がない」ことを提示する趣旨だったが、それすら中

止に追い込まれた。非常に危機感を持ち、市民運動ともつながりたいと抗議活動に参加しました。

### 「記憶」を「記録」に

イスラエル建国は1948年。イスラエルでは歴史の栄光の瞬間とされますが、パレスチナでは大災厄(ナクバ)と呼ばれています。パレスチナ人が大量追放され、村落の半数が破壊、住民の3分の2が難民になりました。これは圧倒的な追放の暴力ですが、この事はイスラエルでは長く隠蔽さ

きんじょう みゆき  
**金城 美幸** さん

1981年生まれ。大阪府出身。立命館大学国際関係学部卒業、立命館大学・中京大学・愛知学院大学非常勤講師。専門はパレスチナ地域研究。パレスチナ/イスラエルにおける歴史認識論争について研究。

70年代にイスラエルの国家資料が公開され、新しい研究によって追放の事実が明らかになりましたが、2000年代に強烈な反動攻撃をうけ、ふたたび封印されています。パレスチナ人へのヘイトスピーチや物理的暴力も一段と増えました。

パレスチナ難民はナクバを決して忘れず語り継いでいて、私も難民や子孫の方をインタビュウをしています。パレスチナ人は記憶を語り、記録に残し、イスラエル建国時の暴力をあげ、しかしこれらの証言はイスラエル側の国家資料がないため、パレスチナ人は「ウソつき」「ユダヤ国家の破壊をもくろむテロリスト」と攻撃され、自国の歴史的正義を直視せず「平和国家」「民主主義」というナルシスティックな幻想におぼれ、(二面へ)

### 平民の暮らし

民責が、4月行った新歓活動ではたくさんの方から「1年後自分からブラック企業に就職しないか心配」「日本に広がる貧富の格差をなんとかしたい」という思いが語られました。地方選と参議院選挙を通じて「残業しなくても、まともな暮らしを保障してほしい」「学費をもっと安くしてほしい」という要求もたくさん出てきました。そうした若者に「野党共闘に一票入れれば生活を変えられる」という展望を伝えると支持がどんどん広がっていききました。また、新歓や選挙で対話になった若者に「一緒に学んで行動しよう」と訴える中で2008年以降一番多く仲間を迎えています。▼「若者は政治離れしている」と言われますが、持っているのに注目して対話を広げることが、社会を変えていく仲間になってもらえると感じています。

古川大暁/民青同盟愛知県委員長/革新・愛知の会代表世話人

「表現の不自由展・その後」の再開を求めて、スタンディングに参加をした金城さん。パレスチナ地域研究を専門に、難民の人の聞き取りをおこない、建国時の暴力を記録・記憶するためにこの9月末にもパレスチナを訪れます。パレスチナと日本軍性奴隷について思いを語っていただきました。(聞き手・山本晃子 写真撮影・岩中美保子)



中尾 裕子  
(愛知母親大会連絡会事務局)



隔月掲載です。

ある静岡で8月24、25日と開催されました。今年の大会は「核兵器から子どもを守ろう」という母親運動の原点とともにさきの参院選挙の争点に押し上げたジェンダー平等をめざし、草の根から運動している女性・母親たちの力を結集し、成功さ

## 女性・母親は歩みつづけます！

「生命(いのち)をうみだす母親は 生命(いのち)を育て 生命(いのち)を守ることを絡ぞみます」。

このスローガンをかけ、歩みつづけて今年で65年。第65回日本母親大会はビキニで被災した第五福竜丸のふるさと、焼津があり、母親運動の原点の地で

愛高教からは「県内公立校の6割以上が男子が先の学級名簿を使用している。男女を混合して並べる名簿の推進を求めている。男女でひとくくりにとらえない混合名簿が個を大

また愛知では8月4日、知多市で第65回愛知母親大会を開催し、18分科会と3つの見学分科会・全体会には、11000人を超える参加がありました。

全体会の記念講演は「世界の動き、日本の動き、ジェンダー平等社会への歩みと課題」と題して三枝麻由美名古屋大学男女共同参画センター准教授が講演。世界から遅れているジェンダー平等を再認識しました。

## 参院選を土台に私たちが安倍政治を終らせる

### 地域・職場・青年革新懇全国交流集会 2019 in兵庫

- 第1日：全体会**  
10月19日(土) 13:30~17:30  
◎各分野からの連帯のあいさつ  
◎岡野八代さん(ジェンダー平等) 志位和夫さん(政党報告)からの特別発言
- 第2日：分散会・分科会**  
10月20日(日) 9:00~12:00  
◎分散会「市民と野党の共闘」の発展をめざして一革新懇活動の交流と議論  
◎分科会①職場交流会②青年交流会③市民と野党の共闘

お申し込みは  
**革新・愛知の会**まで。  
TEL 052-872-1691  
FAX 052-872-1691

緊急シンポジウム  
**「表現の不自由展・その後」と歴史の真実**  
～日本軍「慰安婦」など歴史の真実に向き合い 未来への教訓に～

あいち国際芸術祭(トリエンナーレ2019)の企画展「表現の不自由展・その後」が、脅迫行為などにより中止となったことに対して、表現の自由を守り、その再開を求め行動がひろがっています。

9月13日(金) 午後6時半開会  
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA

8階展示中止  
安世鴻 表現の不自由  
高橋信 展示中止  
本村伸子  
池住義憲

共催/革新・愛知の会(☎052-872-6918)、革新名古屋北の会、西区革新懇、中区革新懇

## 緊急シンポジウム開催決定!

### 「表現の不自由展・その後」と歴史の真実

#### ～日本軍「慰安婦」など歴史の真実に向き合い 未来への教訓に～

日時：9月13日(金) 18時30分開会  
場所：愛知芸術文化センター12階  
アートスペースA  
ふるってご参加ください!!